

平成 27 年度第 3 回平塚市博物館協議会会議録

■開催日時 平成 28 年 3 月 22 日（火）10 時～11 時 30 分

■開催場所 平塚市博物館特別研究室

■会議出席者（敬称略）

会 長 宮川重信

副会長 石綿進一

委 員 牧野久実、宮澤達寛、椿田有希子、岡部盛敏

事務局 澤村館長、縣館長代理（管理担当長）、栗山館長代理（学芸担当長）

■傍聴者 なし

■会議の概要

1 開 会

博物館長挨拶

2 議 事

(1) 報告事項等について

・平成 27 年度事業報告

秋期特別展

博物館文化祭

・平成 28 年度当初予算について

(2) 平成 28 年度事業予定について

(3) その他

・事務連絡等

3 春期特別展の解説と見学

■議事および質疑

議題 (1) 報告事項等について

◆平成 27 年度事業のうち秋期特別展ならびに博物館文化祭について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委 員 博物館文化祭の質問掲示板について、このような質疑応答のデータが蓄積されるといと思う。市民活動だけでなく一般的な展示に関する質問もそうだが、前にいた博物館では毎日質問コーナーを設けていた。学芸員が一人つくが、いろいろな分野の質問が来てそれぞれの分野に回していると、大変時間がかかる。そこで質問と回答を集めておいて、誰もが答えられ

るようにした。それをネット上でも公開することで幅広く回答できるような仕組みにしたのは便利だったので、活用すると良い。

質問する側からすると、博物館のスタッフやサークルの参加者との距離感が近くなる効果もあるだろうし、とても素晴らしいと思う。

委員 質問掲示板で「近日中に回答します」という回答があったが、会期終了後はどうしたのか。
事務局 開催期間の終盤に質問が寄せられる場合も想定されたので、2月21日に開催期間が終了した後、2月いっぱいには常設展示室内の寄贈品コーナー前に掲示して対応した。

委員 参加型の発表ということで、「平塚に伝わる俗信」について「知っている」と「聞いたことがない」のどちらかにシールを貼ってもらう展示を作ったところ、かなりの数のシールが貼られていた。参加できる展示は良いと思う。

委員 ギメンダイの質問があるが、先月ヤマメに関する市民フォーラムがあり、相模川の「鱒」を江戸時代に幕府に献上していたらしい。ここで、昔呼ばれていた名前と、それが現在の何を指すのかを特定するのは難しいと思う。

委員 秋期特別展の主旨に「相模川、金目川、水無川流域」とあるが、金目川流域に含まれる水無川をあえて出したのは理由があるのか。

事務局 とくに理由はない。

委員 相模川流域をジオパークにするということを本気で考えるなら、博物館だけでは重いのではないか。アンケートの意見でも今後どうするのか、市町村の調整はどうするのかという心配まで寄せられている。今後はどう展開するのか。

事務局 特別展のタイトルは「相模川をジオパークに」としているが、ジオパーク構想を具体的にスタートするならば単独の博物館が進められる規模のものでないことは承知している。博物館事業としてジオパーク構想を推進していく予定はない。特別展では、相模川流域にはジオパークといってもいい自然環境や景観、そして人々の暮らしや歴史があるということを提案し知ってもらうことを主旨としている。

委員 この地域の地誌的な変遷を見たり伊豆半島の状況を見ると、かなりユニークな存在といえる。これも先ほどの市民フォーラムでの話だが、ヤマメの遺伝子解析結果を我々と静岡の研究者で比べたが、地誌をよく理解しないと神奈川県生物相を理解できない。今後、生物の分布などの活動を広げていくときには、自然環境も含めた形で進めるといろいろな人が集まってくるのではないか。

委員 今回の特別展は先ず投げかけたという形で、今後の活動に活かせればよいと思う。

◆平成28年度当初予算について、事務局縣管理担当長が説明資料により説明。

委員 厳しい状況だが、特別展事業と教育普及活動推進事業の中の調査活動等出張旅費がそれぞれ減らされている。学芸員にとって調査は重要なので、こうした部分を減らすとモチベーションに関わるのではないかと思う。

一方で、機器リースやOA機器の管理委託などについては、見直しをすると安くなる部分もあるかと思う。ここ10年ぐらいでOAに関する機器は型落ち盤を買ってしまった方が安くなる場合がある。また、印刷関係は委託していたものを完全原稿で印刷業者に渡せば安くなる。調査費にまで減額がくいこまないようにしてもらいたい。

事務局 調査旅費にまで手をつけざるを得なかったのが実情。その代わりではないが、協力者を取り込んだ事業展開など、当館の特徴的な手法を活用していきたい。

管理事業のOA機器管理委託料はコピー機の費用である。建物管理の委託料は入札によってここ5年でかなり下がっている。

委員 長期的に見て博物館のあり方をどうするかということについて、そのためのリサーチ費用などは盛り込んでいかないのか。

事務局 建物としての博物館のあり方については、耐震という大きな問題がある。耐震に関しては20年度の診断結果を精査したところ、想定する工事もこれまでと異なる可能性が出てきた。現在は市の担当部局が公共施設の再編を市全体で進めるよう動き出している。博物館は教育会館、青少年会館、図書館のエリアの機能として一体的に考えるという動きが出てきた。

委員 博物館系の学会では「博物館は場所ではなく手法である」というような意見を聞く。ジオパークの話などもそうだが、大きな転換期に来ているかもしれないと思う。多方面で考えていけないといけない。

事務局 予算の配分について、要求の際も査定の際も前年度の支出額を踏まえており、博物館の要求に対して財政当局の方には理解していただけている方だと考えている。何をやっていくのかということについては、できるだけ戦略的に考えていく必要があると認識している。

委員 公共施設の構想や方向性の協議に社会教育関係者も出席するのか。

事務局 現在のところ事業評価等で、教育会館、青少年会館、勤労会館の話題が先行している。今後の動向の次第で、そうしたこともあるかもしれない。

事務局 現時点の状況は、施設がそれぞれ建物の寿命を迎えつつあるということから出発し、その長寿命化や建て替えにあたり、施設ごとに個別にでなく、機能を洗い直し一体的に考えようと

いう考え方で動くようになってきた。市もやり方を探りながら動いている段階だ。

議題（2）平成28年度事業予定について

◆平成28年度事業予定について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委員 ロケットの関係で、火薬廠から糸川さんにつながるのか。

事務局 ロケットエンジンの噴射の理論などの基礎が火薬廠での研究に求められるということ。
寄贈品コーナーでは一部展示したことがある。

委員 夏の3館コラボレーションを楽しみにしている。子どもたちもトリックは大好きで、学校の図書室でもトリックに関する本は人気である。博物館のサイエンストリックでは、動物のカモフラージュなども、教材にもなっているので良い。夏は大いに宣伝してもらいたい。宣伝にあたって「あなたと博物館」が教職員に配布されているが、その内容をかみ砕いて周知するのが難しい。もっと説明しやすい内容の情報が求められている。
また、各教職員にパソコンが配備され、それを見ることも定着していることから、電子データの活用を図ることも有効と考える。教職員も子どもたちにインパクトのある紹介もできる
うえ、費用もほとんどかからない。

委員 その意見は私も賛成する。お金も郵送料もかからない。

事務局 現在教職員の方々は回覧等もパソコンでやるのですか。

委員 それもやる。ペーパーレス化が進んでいる。

事務局 ホームページ上で公開し、教職員の皆さんにはリンクをお送りすることもできる。ホームページへのアクセスを待つだけでは効果がない。積極的に訴えかけるにはファイルやリンクを送りするのがいいと思う。

議題（3）その他

◆任期の最後にあたり、館長あいさつ。

◆春期特別展「ひらつかの家康－由緒と地域－」解説と見学

以 上

当日配布資料

平成27年度 第3回平塚市博物館協議会 次第

平成28年3月22日（火）午前10時
平塚市博物館特別研究室

1 開会

2 議事

(1) 報告事項等について

- ・ 平成27年度事業報告
秋期特別展
博物館文化祭
- ・ 平成28年度当初予算について

(2) 平成28年度事業予定について

(3) その他

- ・ 事務連絡等

3 春期特別展の解説と見学

以上

平成27年度秋期特別展

「後世に残したい相模川流域の地球遺産－相模川をジオパークに」開催報告

会 期	2015（平成27）年10月17日（土）～11月29日（日）																																											
	休館日：月曜日（11月23日（月）は開館、24日（火）は休館）																																											
主 旨	近年、地球科学的に見て重要な自然遺産（地球遺産）をジオパークとして捉え、文化遺産や産業なども含めて様々な遺産を有機的に結びつけて保全し、教育やツーリズムに利用しながら地域の経済発展を旨とする運動が盛んである。相模川は日本でも数少ないプレート境界の河川で、伊豆弧が本州弧に衝突した際に生じたもので、世界的にも重要な場所である。ここでは、相模川・金目川・水無川と流域の山々をめぐる地形や大地の自然遺産を、遺跡・古道・湧水・利水など歴史遺産との関わり、暮らしや産業との関係などから紹介し、大地のダイナミクスとくらしとの関わりについて紹介し、相模川流域もジオパークにふさわしい地域であることを発信する。																																											
展 示 構 成	第1章 ようこそジオサイトへ／第2章 相模川源流域のジオサイト／第3章 相模川上流域のジオサイト／第4章 相模川中流域のジオサイト／第5章 相模川下流域のジオサイト／第6章 相模川をジオパークに																																											
展 示 資 料	写真597点・パノラマ写真21点・実物242点・図表パネル65点など																																											
協 力 機 関	写真提供：国立研究開発法人海洋研究開発機構／神奈川県立生命の星・地球博物館／相模原市立博物館／相模川流域の各市町村の観光課と観光協会・平塚市商業観光課・平塚市観光協会など34機関																																											
	写真提供者20名・観光リーフレット提供機関17																																											
入 館 者	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">入館者数</th> <th rowspan="2">開館 日数</th> <th rowspan="2">こどもの 割合</th> <th rowspan="2">平均入館 者数/1日</th> </tr> <tr> <th>大人</th> <th>こども</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>1637</td> <td>678</td> <td>2315</td> <td>13</td> <td>29.3%</td> <td>178.1</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>2796</td> <td>1447</td> <td>4213</td> <td>25</td> <td>33.6%</td> <td>168.5</td> </tr> <tr> <td>期間計</td> <td>4431</td> <td>2125</td> <td>6528</td> <td>38</td> <td>32.6%</td> <td>171.8</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>6850</td> <td>2529</td> <td>9379</td> <td>51</td> <td>27.0%</td> <td>183.9</td> </tr> </tbody> </table>							入館者数			開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1日	大人	こども	合計	10月	1637	678	2315	13	29.3%	178.1	11月	2796	1447	4213	25	33.6%	168.5	期間計	4431	2125	6528	38	32.6%	171.8	26年度	6850	2529	9379	51	27.0%	183.9
	入館者数			開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1日																																						
	大人	こども	合計																																									
10月	1637	678	2315	13	29.3%	178.1																																						
11月	2796	1447	4213	25	33.6%	168.5																																						
期間計	4431	2125	6528	38	32.6%	171.8																																						
26年度	6850	2529	9379	51	27.0%	183.9																																						
関 連 行 事	<p>「平塚の石仏－3058の祈りと願い－」（10/4～11/30）</p> <p>記念講演会「相模川をジオパークに」（参加65名）</p> <p>11月8日（日）13時～17時15分 講師：藤岡換太郎氏（神奈川大学）・小川勇二郎氏（筑波大学名誉教授）・平田大二氏（神奈川県立生命の星・地球博物館）・森慎一（当館学芸員）</p> <p>特別展展示解説</p> <p>① 10月17日（土）13時～13時55分（参加26名）</p> <p>② 10月31日（土）13時～13時55分（参加15名）</p> <p>③ 11月5日（木）11時～12時（参加12名）</p> <p>野外見学会</p> <p>① 11月1日（日）9時～17時 湘南平～揚谷寺横穴墓群～東海道～花水河口（参加11名）</p> <p>② 11月14日（土）9時～17時 下溝～座間（雨天中止）</p> <p>寄贈品コーナー「富士火山ジオツアー展」 10月31日（土）～11月26日（木）</p> <p>イブニングミュージアムウイーク</p> <p>① 10月20日（火）17時30分～18時30分（参加7名） 古代相模のツインシティ</p> <p>② 10月21日（水）17時30分～18時30分（参加11名） 丹沢の岩石と化石からの謎解き</p> <p>③ 10月22日（木）17時30分～18時30分（参加6名） 天体と富士が織り成す軌跡</p> <p>④ 10月23日（金）17時30分～18時30分（参加5名）</p>																																											

- 相模川にもあった鵜飼い漁
 ⑤ 10月24日(土)17時30分～18時30分 (参加11名)
 山と海を結ぶ相模川
 ⑥ 10月25日(日)17時30分～18時30分 (参加13名)
 湧水と滝を巡って

印刷物 図録「後世に残したい相模川流域の地球遺産－相模川をジオパークに」
 A4判 64頁 カラー 1000部 頒布価格 ¥1000
 会期中の頒布数 150冊
 ポスター B3判 カラー 500部
 リーフレット A3判 6折 カラー 3000部

アンケートの結果

有効回答数 62枚

回答者の住所 平塚市内 32名、平塚市外神奈川県内 18名、神奈川県外関東地方 2名

回答者性別 男 32名、女 20名、

回答者年齢	～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	12名	1名	4名	7名	8名	12名	8名
	23.1%	1.9%	7.7%	13.5%	15.4%	23.1%	15.4%

情報の入手先 広報ひらつか 11名、博物館のホームページ 4名、新聞等 5名、ポスター6名、その他 26名

おもしろさ	非常に おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや 物足りない	つまらない
	30名 63.8%	12名 25.5%	4名 8.5%	1名 2.1%	0名 0%
総合評価	とても良い	良い	ふつう	もう少し	良くない
	38名 65.5%	16名 27.6%	3名 5.2%	1名 1.7%	0名 0%

ご意見・ご感想

- ・ 相模川、特に金目川流域の多彩さに驚いた。こんなに複雑でおもしろい地域をもっとたくさんの方が知るとよいと感じた。
- ・ ガイドの方がわかり易く丁寧に説明してくださり、とても楽しかった。生まれ育った平塚のことを改めて知るきっかけになり見方が変わりました。ありがとうございました。
- ・ すごく丁寧に教えてくださって、平塚や平塚周辺地域に興味が出ました。楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ 静かな、緑の多いところで見れて良いです。展示物も内容の高いものすばらしいです。ありがとうございました。
- ・ ここへは何回も来ています。平塚の一つの博物館としての中で、これだけの写真、パネル、解説などを見て、おもしろく、ためになって、もう一度来てゆっくり楽しみたい。
- ・ 県外に住むことになって、地元への関心がより高まった。情報量に圧倒された。学芸員の仕事に感動。大変すばらしい展示だった。
- ・ 相模川という身近な川の展示であり、非常に興味を持ってました。
- ・ 平塚市域だけではもったいない、素晴らしい展示です。
- ・ 知らないことがいっぱいですごく興味をもてました
- ・ 今まで知らなかったことがわかってすごく魅了された。
- ・ とても面白かったですサメの歯。またやってください。
- ・ 3Dで見るのがおもしろい。
- ・ 近々地域史の研究仲間を連れてきたいです。
- ・ わくわくした。
- ・ 非常に勉強になりました。
- ・ わかりやすく感じが良い。
- ・ またきたいです。
- ・ これからもいろいろな展示会をやってほしい。
- ・ 広範囲にわたっての調査・展示は大変だったことと思います。少し的を絞り込む必要があるように感じました。
- ・ ジオサイトとしてどう絞るか。
- ・ ① 地質だけでは日本ジオパーク認定は難しい（世界はまた別として）。
- ・ ② 広域のジオパークになった際の区市町村間の調整はどのようにするのか。
- ・ ③ 全体のテーマ（JGN風言えばストーリー）がよくわからない。
- ・ 読みにくいところもあり、もう少し字が大きいとうれしい。相模川・桂川のつなぎの部分のわかりやすくしてほしい。
- ・ 動画が流れていたらなおよい。
- ・ もっとたくさんの方が来れる仕組みづくりが大切かと。PRも必要でしょう。
- ・ 子供にもっとおもしろさをおしえてほしい。

相模川流域のジオサイト ベスト10 投票結果

総得票数 617 票

得票数	順位	エリア	ジオサイト
41	1位	平塚海岸	湘南潮来と相模川河口
32	2位	早戸川・中津川	早戸大滝(早戸川)
28	3位	湘南平周辺	湘南平
25	4位	宮ヶ瀬周辺	宮ヶ瀬湖・宮ヶ瀬ダム
23	5位	土屋周辺	七国峠
21	6位	金目川上流	大山 1252m
19	7位(同率)	道志川流域	七滝(道志川)
19	7位(同率)	吉沢・金目周辺	金目川と観音堂
19	7位(同率)	平塚海岸	八幡山公園・平塚八幡宮
19	7位(同率)	江の島周辺	江ノ島南西海岸
18	8位	都留周辺	太郎次郎滝の湧水
16	9位(同率)	土屋周辺	駒ヶ滝(座禅川)
16	9位(同率)	平塚海岸	平塚海岸
15	10位	忍野周辺	忍野八海 湧水
14	11位	水無川上流	塔ノ岳 1491m
12	12位	相模川下流域	馬入水辺の楽校・やぎ島
10	13位	吉沢・金目周辺	霧降の滝・松岩寺

「第17回博物館文化祭—サークル活動・展示・発表・実演—」実施報告

- 1) 会 期 平成28年2月6日(土)～21日(日)
- 2) 展示会場 平塚市博物館特別展示室
- 3) 主 催 平塚市博物館、博物館文化祭実行委員会
- 4) 主 旨 博物館で活動する会員制サークルが、活動成果の発表を通じて相互の交流を深めるとともに、市民に広くその活動内容を紹介することを目的に開催した。
- 5) 参加サークル お囃子研究会、神奈川キノコの会、聞き書きの会、古代生活実験室、古文書講読会、石仏を調べる会、展示解説ボランティアの会、天体観察会、東国史跡踏査団、平塚の空襲と戦災を記録する会、平塚の古代を学ぶ会、民俗探訪会(以上12サークル)
- 6) 運営状況 準備と運営は例年どおり実行委員会形式で行った。参加サークルから各1名以上選出された実行委員で実行委員会を組織した。終了後の反省会を含めて計5回の実行委員会を実施し、開催に向けた意見交換や諸準備を行い博物館の事務局と調整を図りつつ諸事を進めた。実行委員長は山形俊雄氏(石仏を調べる会)、副委員長は藤村悦子氏(民俗探訪会)が務めた【表1】。

開催告知用ポスターは、各会にデザインを募り、庁内カラーコピー機で作成した。6種類のポスターデザイン(神奈川キノコの会、古代生活実験室、石仏を調べる会、天体観察会、平塚の空襲と戦災を記録する会、民俗探訪会が作成)を計400部印刷した。パンフレットはA5縦判20頁とし、850部(うち増刷分150部)印刷して製本と発送を実行委員会で行った。ポスターは市内の広報掲示板への掲示をはじめ、パンフレットと合わせて市内の小中学校と公民館、市外の図書館・博物館へも送付し、行事の周知に努めた。

展示は、各サークルの活動成果を実物や模型、ポスター形式の説明で実施した。関連行事として活動報告会と5本の実演を行った。

今年度の文化祭では、展示会場に質問掲示板を設置し、パンフレットについては判型をA5縦判に変更、サークル会員から募集した表紙イラストを採用するなど、新しい試みをいくつか採り入れた。質問掲示板は、観覧者が展示内容への質問や意見を質問用紙に記入してホワイトボードへ掲示し、それをサークル会員または担当学芸員が回答して再掲示するというもので、質問と回答を全体で共有することを主な狙いとした。会期後半に寄せられた質問には、ボードを寄贈品コーナーへ移設し2月28日まで設置して対応した。質問用紙は20件が掲示され、判型とデザインを一新したパンフレットは会期中に150部増刷するなど数字的には一定の効果がみられた。また、サブタイトルに実演を加え、内容に即したイベント名に変更した。

会期中の入館者は2279人、一日平均237人であり、過去5年間で最多となった【表2】。

【表1】第17回博物館文化祭実行委員会の日程

回数	月日	主な協議内容	人数
第1回	9月29日(木)	実行委員会の設立、スケジュール確認、参加確認など	13名
第2回	10月30日(金)	展示の割り振り、リーフレットの内容、提案事項など	15名
第3回	12月9日(水)	サブタイトル、活動報告会、質問掲示板の検討など	14名
第4回	1月19日(火)	詳細確認、ポスター・リーフレットの製本と発送	12名
第5回	3月22日(火)	反省会	

【表2】過去6年間の文化祭入館者数

	大人	こども	計	日数	こどもの割合	1日平均
27年度(2016 2/6~2/21)	2279人	1036人	3315人	14日	31.3%	237.0人
26年度(2015 2/1~2/15)	1697人	656人	2353人	13日	27.8%	181.0人
25年度(2014 2/2~2/16)	1200人	451人	1651人	13日	27.3%	127.0人
24年度(2013 1/27~2/11)	1744人	773人	2517人	14日	30.7%	179.8人
23年度(2012 2/4~2/19)	2462人	600人	3062人	14日	19.6%	219.0人
22年度(2010 10/9~11/7)	3379人	2154人	5533人	29日	38.9%	190.7人

7) 展示サークルとタイトル

サークル名	展示タイトル
神奈川キノコの会	雑木林のキノコ キノコらしくないキノコ
聞き書きの会	平塚に暮らして
古代生活実験室	実験考古学ー私たちグループが目指すものー
古文書講話会	徳川家茂上洛当時の世相
石仏を調べる会	八幡・四之宮の石仏
展示解説ボランティアの会	「知ってますか？」～展ボラの活動(since1999)～
天体観察会	2015年度の天体観察会
東国史跡踏査団	①五領ヶ台貝塚と南金目の地形 ②鎌倉の切通し「名越」
平塚の古代を学ぶ会	相模国庁模型制作プロジェクト
民俗探訪会	平塚をもっと知ろう

8) 活動報告会

2月14日(日) 13時~16時40分 会場講堂 参加自由 参加者110名

時間	発表サークル	発表タイトル	発表者
13:00	実行委員長	開会あいさつ	山形 俊雄
13:05	石仏を調べる会	『平塚の石仏 改訂版』の完成	山形 俊雄
13:30	聞き書きの会	平塚に暮らして	神谷 智子
13:55	古文書講話会	14代将軍上洛	茂木 良平
14:20	古代生活実験室	古代の調べー土笛製作から実演までー	中西 令子
14:45	休憩		
14:55	平塚の空襲と戦災を記録する会	平塚空襲を忘れない	藤野 敬子
15:20	民俗探訪会	海軍第二火薬廠と専用引込み線	柴垣 吉宏
15:45	展示解説ボランティアの会	秋期館外研修「相模川河口と須賀を歩く」	天羽 輝彦
16:10	天体観察会	流れ星を切れ! 回転シャッター流星号	萩原 亜香 永井 和男
16:35	博物館長	閉会挨拶	澤村 泰彦

9) 実演: いずれも参加自由

サークル名	タイトル	日時	会場	人数
平塚の空襲と戦災を記録する会	未来を担う子ども達と平塚空襲を考える	2月7日(日) 13:00~15:00	講堂	40名
天体観察会	天体観察会会員によるプラネタリウム投影	2月7日(日) 15:30~16:30	プラネタリウム室	38名
天体観察会	太陽黒点観測の実演	2月14日(日) 10:00~12:00	正面玄関前	雨天中止
古代生活実験室	古代土笛を体験しよう	2月14日(日) 10:00~12:00	科学教室	12名
お囃子研究会	みんなで叩くお囃子体験会	2月20日(土) 15:00~16:30	相模の家と講堂	15名

10) 印刷物：

リーフレット A5判 20頁 庁内印刷 850部
 ポスター A3判 庁内カラーコピー 400部

11) 来場者アンケート結果：

- 回収枚数 14枚
- 記入者の住所 平塚市内13、茅ヶ崎市1
- 開催情報の入手
 知らなかった5、ポスター3、あなたと博物館2、広報ひらつか2、ホームページ1、その他1
- 難しさ
 非常にわかりやすい4、まあわかりやすい7、ふつう2、やや難しい1
- 総合評価
 とても良い8、まあ良い4、ふつう1、もう少し1

<感想・ご意見>

- ・平塚のことがよく知れてよかった。横浜ゴムのところまで線路がひかれていて、公園内にあるSLもその引き込み線から搬入したと初めて知った。石仏の調べも興味深く拝見しました。(40代男性)
- ・とても色々な展示をゆっくりみることが出来たのしかったです。有り難うございました。(70代女性)
- ・全体的に展示されているものが高度に専門的に研究されているのがよく分かります。展示だけで終わるのは勿体ない。石仏などは写真集として、古文書は一冊の本としての価値があります。舞切りなどは、古代のものだけでなく、現代も大切な儀式の御饌を作る浄火としても使われています。(80代以上男性)
- ・平塚に居ても知らないことを良く調べて下さって、分かりやすく展示してくれありがとうございます。(女子中学生)
- ・古文書講話会が面白かったです。もう少し、古文書のコピーを見たいと思いました。(50代)
- ・研究成果が写真、図版、実物等で工夫を加えて展示がされており、とてもわかりやすかったです。(60代女性)
- ・見やすい展示で子供から年寄りまで楽しめそう。(40代男性)
- ・平塚は何にもないと思っていたのでびっくりしました(笑)。(女子中学生)
- ・いろんなグループが活動されてておもしろかったです。(30代女性)
- ・おもしろかった。(小学生女兒)

12) 質問用紙：

揭示数 20枚

対象サークル	ご質問・ご意見	回答
古代生活実験室	土笛の販売をしてほしい	販売の計画はありませんが、会に入って土笛を一緒に作ってみませんか。
	土笛の展示がありましたが、土笛の音楽があれば良いと思います。どちらさんか吹いたものを録音して、館内に流してみたら楽しいかな？	館内で放送するには我々会員も努力して練習しなければなりませんので期待して下さい。又興味があれば会員になりませんか。
神奈川キノコの会	平塚にも猛毒のキノコがあると知って驚きました。平塚のどのあたりに生えているのですか？	びわ青少年の家付近、南金目付近、万縄の森でよく見かけます。調査対象外の里山にもあるかもしれません。
	きのこのなまえがわかんない。	リースの材料は、ツチグリ、ヒイロタケ、カイガラタケ、ネンドタケ、カワラタケ、クジラタケ、チャカイガラタケ、クロコブタケ、ツチグリ。ポスターはタマゴタケです。
	私の家の近くの見附台公園にたまにナゾのキノコが生えているのですが、あれは食べられますか？(絵) ←こんな感じです。	たぶんハツタケの仲間と思われます。素性がわかるまで食べないで下さい。
民俗探訪会	イラストの女の子？とネコのキャラクターに名前はありますか？	女の子はなおちゃん、ネコはミータです。

	「大山のかんだち（夕立のこと）となりのポタモチは来そうで来ない」というのを年寄りから聞いたことがあります。	ありがとうございました。
	お客様からの指摘です。「海軍第二火薬廠歴史年表」中、1905M38.12.4 日本火薬製造会社設立」とあるが、これは日本爆発物製造会社ではないか。	最新の研究成果によると、明治 38 年 12 月の設立当初の社名は「日本火薬製造株式会社」であり、大正 3 年の『横浜貿易新報』に「ゼ・ジャパニース・エキスプロシーブス・コムパニー・リミテッド」に社名変更したという記事が掲載されています。これを訳した「日本爆発物製造株式会社」はあくまで通称であり、記事には「爆発会社」などの略称も見られます。
	火薬廠（東側）と日産車体への引き込み線（開通は戦後と日産の社史に明記）は、戦前にはつながっていなかったのではないか。国土地理院の 5 万分の 1 図（昭和 18 年頃には、東側のみ）では、東側引き込み線と横浜ゴムへの東からの引き込み線は、重ならず、全く別のものと考えます。S20 年のテキサス大の地図に周回路線が明記されていたのでしょうか。要するに周回路線の存在は疑問に思います。	火薬廠の構内配置に正門に入った処で分岐していて且つ昭和 29 年の明細地図に記載されており連結していたものと判断しました。設置時期は特定できておりません。
	大正時代の本宿の地図が興味深いですが、来館者が入手（コピー）する術はございますか。	大正 14 年の平塚町地図は、博物館市史編さん担当が所蔵しています。市史編さん担当でそのコピーを入手することが可能です。また、当館発行『平塚市史民俗調査報告書 7 旧市域』にもこの地図が掲載されており、受付で販売しています。
	平塚に俗信。年齢別にデータを取られています。良い発案だと思います。結果を年齢分析され、どんな俗信が其の年代で流行したか知りたい。又は俗信の流行した地域など分析して教えて下さい。展ボラ。	ありがとうございます。展示が終了したら集計します。
	「海軍火薬廠と専用引き込み線」関連で、11,8 km、戦後も活用されていたとは新しい知見でした。ところで、引き込み線は国鉄か会社線、いずれだったのでしょうか（戦前、戦後）。お教え願います。	貨物線は客貨分離により「相模貨物駅分岐扱い」とあり、外部は国鉄、内部は会社線と思われます。
	「第 2 海軍火薬廠」の名称について。昭和 16 年の宮城県船岡支廠を含めた編成変えで何故本廠であった平塚が第 1 でなく第 2 となったのか。これまで種々調べたが判りませんでした。ご存知でしょうか。	大正 8 年 3 月、海軍火薬廠令制定に伴い、日本爆発物製造会社を買収、同年 4 月 1 日海軍火薬廠が開庁。第一は昭和 14 年設立ですが、北から第 1～3 と呼んだと推測します。
石仏を調べる会	前鳥神社宝篋印塔。何とよむの？	ホウキョウイントウ
	石仏を調べる会のイベント&本毎回ののしみにしています。新しい本など出たらぜひタウン誌などで知りたいと思います!! がんばって下さい。	
	平塚 2 丁目、大鳥公園の大鷲神社に石仏？石碑？が複数ありますが、由緒が気になっています。 (回答を受けて) 回答ありがとうございました。周辺が旧遊廓	大鷲神社には、馬頭観音、道祖神、震災供養塔など 11 基の石仏・石塔があります。由緒はつかめていませんが、銘文をみると、道祖神と震災供養塔は遊廓の関係者によって建立されています。

	だと知っていたので、働いていた女性の供養塔？無縁墓？と気になっておりました。	
古文書講読会	松屋の御用旗は本物（実際に使われたもの）なのでしょうか？	仮回答→本物ではありません。文献を元に作成したものです。詳細は近日中に回答します。
	大名の宿場は決まっていたのですか。又万が一平塚宿では大名の宿泊は可能ですか。	大名の宿泊場所（宿場）は事前に決まっていました。又、平塚でも本陣は一つあり、宿泊もできました。
	入会するのに何か条件は必要ですか？古文書がある程度読める等。	3月に募集がありますので、それに申し込んでいただければ入会可能です。古文書は入会后、先輩方のご指導で、勉強することになっていますので、素人の方でも参加できます。
	ギメン鯛は、ギンメ鯛とはちがいますか	展示パネルにも記述してあるように私たちが判断しかねております。現在魚類としてはギンメ鯛もあります（おいしい魚ではないようです）。

博物館 平成28年度予算一覧 (単位: 千円)

【歳出】

10 教育費		28年度	27年度	対前年差	
5 社会教育費(博物館歳出合計)		91,890	110,765	▲ 18,875	
4 博物館費		86,692	104,653	▲ 17,961	
1 博物館特別展事業		5,910	6,089	▲ 179	
8 報償費		383	498	▲ 115	・協力者謝礼
9 旅費		19	21	▲ 2	・調査活動等出張旅費
11 需用費		4,934	4,982	▲ 48	・消耗品費、図録等印刷費
12 役務費		19	19	0	
13 委託料		540	540	0	・展示パネル・看板等制作委託
16 原材料費		15	29	▲ 14	・材料費
2 博物館教育普及活動推進事業		36,083	36,463	▲ 380	
8 報償費		2,256	2,221	35	・協力者謝礼
9 旅費		253	262	▲ 9	・調査活動等出張旅費
11 需用費		7,049	4,267	2,782	・消耗品費、出版図書等印刷代、プラネリース更新用修繕料
12 役務費		20	78	▲ 58	・資料等運送費
13 委託料		1,500	1,650	▲ 150	・展示用映像システム更新委託、標本制作委託等
14 使用料・賃借料		24,580	27,325	▲ 2,745	・機器リース料、プラネ機器再リース料
16 原材料費		37	64	▲ 27	・材料費
18 備品購入費		300	501	▲ 201	・文献図書等購入費
19 負担金・補助金		88	95	▲ 7	・各種協議会等負担金
3 博物館協議会事業		170	170	0	
1 報酬		170	170	0	・協議会委員報酬
4 博物館管理事業		42,702	60,017	▲ 17,315	
7 賃金		629	1,346	▲ 717	・臨時職員賃金
11 需用費		10,616	24,238	▲ 13,622	・消耗品、光熱水費、物品・施設緊急修繕料等
12 役務費		506	520	▲ 14	・電話代、各種検査手数料、保険料等
13 委託料		29,806	32,727	▲ 2,921	・施設管理運営委託料、OA機器保守委託料
14 使用料賃借料		1,145	1,156	▲ 11	・各種施設、機器リース料等
19 負担金補助・交付金		0	30	▲ 30	
5 博物館情報システム事業		1,827	1,914	▲ 87	
8 報償費		252	252	0	・協力者謝礼
11 需用費		29	35	▲ 6	・消耗品
12 役務費		111	108	3	・レンタルサーバ運用費
14 使用料賃借料		1,435	1,519	▲ 84	・機器リース料等
5 市史編さん費		5,198	6,112	▲ 914	
2 市史編さん事業		5,198	6,112	▲ 914	
7 賃金		1,649	1,692	▲ 43	・臨時職員賃金
8 報償費		3,200	3,937	▲ 737	・協力者謝礼
11 需用費		257	365	▲ 108	・消耗品、光熱水費、物品・施設修繕料等
12 役務費		52	53	▲ 1	・市史編さん担当用電話料
13 委託料		30	55	▲ 25	・OA機器保守委託料
19 負担金補助・交付金		10	10	0	・県協議会担金

【歳入】

		28年度	27年度	対前年差	
博物館歳入合計		2,455	2,492	▲ 37	
13 使用料・手数料		817	851	▲ 34	
1 使用料		817	851	▲ 34	
1 総務使用料		6	6	0	
1 総務管理使用料		6	6	0	
1 行政財産使用料		6	6	0	・敷地内存置電柱占用料収入
8 教育使用料		811	845	▲ 34	
3 社会教育使用料		811	845	▲ 34	
2 プラネタリウム観覧料		800	834	▲ 34	・プラネタリウム観覧料 @¥200
3 博物館施設使用料		11	11	0	・講堂使用料 @¥750/h
13 財産収入		1,636	1,639	▲ 3	
2 財産売払収入		1,636	1,639	▲ 3	
2 物品売払収入		1,636	1,639	▲ 3	
1 物品売払収入		1,636	1,639	▲ 3	
1 有償刊行物頒布収入		1,636	1,639	▲ 3	・図録、市史等販売収入
20 諸収入		2	2	0	
6 雑入		2	2	0	
2 雑入		2	2	0	
8 教育費雑入		2	2	0	
50 その他雑入		2	2	0	・私用コピー代収入等

展示

夏期特別展は博物館開館40周年記念として「レンズが見た平塚2ー平塚と博物館の40年 1976-2016ー(仮)」を開催し、平成24年に平塚市制80周年を記念して開催した「レンズが見た平塚ーあの日、あの場所、あのくらし」で扱った年代に続く最近40年の写真を展示し、平塚の動きをふりかえります。展示写真は広く市民から公募しています。秋期特別展「知られざる平塚のロケット開発(仮)」では、平塚の近代史に不可欠な火薬廠での研究が、日本のロケット技術の出発点となり現在の宇宙開発の礎となっているという、平塚の歴史の新たな一面を紹介します。春期特別展「男の子と女の子のお雛さま(仮)」では、近年人気の高いひな人形と五月人形を、博物館の収蔵資料の中から展示します。「第18回 博物館文化祭ーサークル活動展示・発表・実演ー」では、博物館で活動する行事サークルの成果を発表します。

特別展	春期特別展「ひらつかの家康伝説ー由緒と地域ー」	2016 3月 19日 ~ 5月 8日
	夏期特別展「レンズが見た平塚2ー平塚と博物館の40年ー」	7月 16日 ~ 9月 11日
	秋期特別展「知られざる平塚のロケット開発(仮称)」	10月 22日 ~ 12月 18日
	博物館文化祭ーサークル活動展示・発表・実演ー(詳細は実行委員会で決定)	2017 1月 ~ 2月
	春期特別展「男の子と女の子のお雛さま(仮称)」	2月 25日 ~ 5月 7日

寄贈品 コーナー	民俗 「新着資料展Ⅰ 民俗分野」	2016 4月 2日 ~ 5月 8日
	全分野 「新着資料展Ⅱ」	5月 12日 ~ 6月 5日
	民俗 「竹細工職人 吉川順郭の仕事」	6月 18日 ~ 7月 14日
	歴史 「平塚空襲展」	7月 16日 ~ 8月 21日
	生物 「みんなで調べよう セミのぬげがら調べ2015」	8月 25日 ~ 9月 8日
	実習 「博物館実習生の展示」	9月 16日 ~ 9月 29日
	歴史 「平塚と囲碁」	10月 1日 ~ 10月 30日
	地質 「姥島展」	11月 3日 ~ 11月 29日
	天文 「テーマ未定」	12月 1日 ~ 12月 25日
	考古 「テーマ未定」	2017 1月 4日 ~ 1月 29日
	地質 「相模川流域の化石と鉱物」	2月 1日 ~ 2月 26日
	天文 「テーマ未定」	3月 1日 ~ 3月 30日

プラネタリウム

天文のテーマと季節毎の星空の話題でお送りする一般投影を7番組と幼稚園を対象とした幼児投影を行います。また、学校を対象とした学習投影を水・木・金曜日午前に予約制で行なっています。

一般投影	一般向け投影 「星はすばる 星の和名たち」	2016 ~ 4月 3日
	一般向け投影 「すだれごしに見た宇宙」	4月 9日 ~ 6月 5日
	幼児向け投影 「ほしみる おじさん」 親子ほしぞらタイム	5月 14日 ~ 7月 9日
	一般向け投影 「フリートーク・プラネタリウム」	6月 18日 ~ 8月 10日
	一般向け投影 「賢治が綴った星空」	7月 16日 ~ 9月 25日
	一般向け投影 「不思議な星と悪魔の星」	10月 1日 ~ 11月 27日
	一般向け投影 「2017年の天文現象」	12月 3日 ~ 1月 29日
	一般向け投影 「ベピ・コロンボの水星探査」	2017 2月 4日 ~ 4月 2日
季節投影	「いつもの星空」	
特別投影	「星空と音楽の夕べ」「星空とともに」	

各種普及行事

この他にも様々な行事があります。詳しくは「広報ひらつか」や博物館ホームページ(<http://hirahaku.jp/>)をご覧ください。

自由参加 行事	歴史	平塚郷土史入門講座	
	民俗	ろばたばなし	
	考古	考古学入門講座	
	天文	星を見る会/スターウォッチング入門講座/天文学入門講座/最新天文学講座	
	全分野	こどもフェスタ	2016 5月 7日
		イブニング・ミュージアム・ウィーク[夏]	
		イブニング・ミュージアム・ウィーク[秋]	
申込制 行事	考古	体験学習「縄文人になろう」	2016 8月 12日
	民俗	石仏見学会	2016 10月 23日
		体験学習「お飾りをつくろう」	2016 12月 18日
	地質	自然観察入門講座「貝化石を調べよう」	2016 7月 28日
		体験学習「地形模型を作ろう」	2016 8月 16日 ~ 8月 18日
		野外観察入門講座「相模川ジオツアー」	
	生物	みんなで調べよう「セミのぬけがら調べ」	
		キノコの観察会	2016 11月 12日
	天文	みんなで調べよう「ひらつか星空調査隊」	2016 12月 ~
		体験学習「ヤコブの杖を作って火星の動きを測ろう」	2016 5月 1日
		体験学習「体験！宇宙飛行士選抜試験」	2016 8月 23日
	プラネ	雑貨団シアトリカル・プラネタリウム/プラネタリウムコンサート	
		体験学習「君もプラネタリアン」	
体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」			
会員制 行事	歴史	古文書講読会/地域史研究ゼミ/平塚の空襲と戦災を記録する会/裏打ちの会	
	民俗	お囃子研究会/石仏を調べる会/民俗探訪会/聞き書きの会	
	考古	古代生活実験室/東国史跡踏査団/平塚の古代を学ぶ会	
	地質	相模川の生い立ちを探る会/地質調査会/地球科学入門講座	
	天文	星まつりを調べる会/天体観察会	
	展示	展示解説ボランティアの会	

その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2016 6月 6日 ~ 6月 17日
博物館実習	9月 7日 ~ 9月 15日

*都合により内容・日時が断りなく変更される場合がありますので、「あなたと博物館」「広報ひらつか」等でご確認下さい。